

[平成24年度設置]

計画の区分：学部学科設置

届出

北海学園大学 工学部 生命工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 北海学園  
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

法人事務局総務部

職名・氏名 計画課長 オオハシ タカユキ  
大橋 孝行

北海学園大学工学部

職名・氏名 事務長 フジモト テツヤ  
藤本 哲也

電話番号 011-841-1161 内線 (1112・7703)

(夜間) 011-841-1161 内線 (1112・7703)

F A X 011-824-2881・011-551-2951

e-mail soumu@hgu.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2 授業科目の概要 . . . . .	5
3 施設・設備の整備状況，経費 . . . . .	12
4 既設大学等の状況 . . . . .	14
5 教員組織の状況 . . . . .	16
6 留意事項に対する履行状況等 . . . . .	26
7 その他全般的事項 . . . . .	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 北海学園

## (2) 大学名

北海学園大学

## (3) 大学の位置

〒064-0926

北海道札幌市中央区南26条西11丁目1-1

(〒062-8605

北海道札幌市豊平区旭町4丁目1-40)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリモト マサオ) 森本 正夫 (昭和51年1月)		
学長	(キムラ カズノリ) 木村 和範 (平成23年4月)		
学部長	(スギモト ヒロユキ) 杉本 博之 (平成24年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 生命工学科  学士(工学)	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 ( - ) [ - ]	-	60 ( - ) [ - ]	-	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.12倍	
志願者数	123 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	226 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	117 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	217 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	107 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	168 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	62 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	73 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.21							

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] 62	[ - ] -	[ - ] 74	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	平成25年度 1年次に留年者1名含む 2年次に転学科（転入）1名含む
2年次	/		[ 1 ] 60	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ 1 ] 62		[ 1 ] 134		[ ]		[ ]		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	62 人	2 人	平成24年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学	3.2 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	73 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		- %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		- %
合 計	135 人	2 人					1.5 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学部 生命工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般 教育 科目	(言語) (英語)												
	英語講読Ⅰ	1前		1							兼	2	
	英語講読Ⅱ	1後		1							兼	2	
	英語講読Ⅲ	2前		1							兼	2	
	英語講読Ⅳ	2後		1							兼	2	
	オーラルコミュニケーションⅠ	1前		1							兼	10	
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後		1							兼	11	
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前		1							兼	1	
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後		1							兼	1	
	英語特講Ⅰ	1前		1							兼	4	
	英語特講Ⅱ	1後		1							兼	4	
	ライティング初級Ⅰ	1前		1							兼	1	
	ライティング初級Ⅱ	1後		1							兼	2	
	英語文化演習Ⅰ	2前		2							兼	1	
	英語文化演習Ⅱ	2後		2							兼	1	
	(英語以外の外国語) (共通)												
	世界の言語と文化 (ドイツ語)	1前		2							兼	5	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前後		1							兼	8	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後 2前		1							兼	8	
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前後		1							兼	1	開講科目数の調整により、開講学期を変更 (25)
	ドイツ語基礎Ⅳ	2後		1							兼	1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1前		1							兼	1	
	ドイツ語会話Ⅱ	1後		1							兼	1	
	ドイツ語文化Ⅰ	1後		2							兼	1	
	ドイツ語文化Ⅱ	2前		2							兼	1	
	ドイツ語文化Ⅲ	2後		2							兼	1	
	ドイツ語文化演習Ⅰ	3前		2							兼	1	
	ドイツ語文化演習Ⅱ	3後		2							兼	1	
	ドイツ語言語演習Ⅰ	3前		2							兼	1	
	ドイツ語言語演習Ⅱ	3後		2							兼	1	
	ドイツ語言語文化演習Ⅰ	4前		2							兼	1	
	ドイツ語言語文化演習Ⅱ	4後		2							兼	1	
	(フランス語)												
	フランス語基礎Ⅰ	1前後		1							兼	4	
	フランス語基礎Ⅱ	1後 2前		1							兼	4	
	フランス語基礎Ⅲ	2前後		1							兼	1	開講科目数の調整により、開講学期を変更 (25)
	フランス語基礎Ⅳ	2後		1							兼	1	
	フランス語会話Ⅰ	1前		1							兼	2	
	フランス語会話Ⅱ	1後		1							兼	2	
	フランス語文化Ⅰ	1後		2							兼	2	
	フランス語文化Ⅱ	2前		2							兼	1	
	フランス語文化Ⅲ	2後		2							兼	1	
	フランス語文化演習Ⅰ	3前		2									兼任教員退職により担当者未定 (25)
フランス語文化演習Ⅱ	3後		2									兼任教員退職により担当者未定 (25)	
フランス語言語演習Ⅰ	3前		2							兼	1		
フランス語言語演習Ⅱ	3後		2							兼	1		
フランス語言語文化演習Ⅰ	4前		2							兼	1		
フランス語言語文化演習Ⅱ	4後		2							兼	1		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	(中国語)											
	中国語基礎Ⅰ	1前後		1							兼	5
	中国語基礎Ⅱ	1後		1							兼	5
		2前										
	中国語基礎Ⅲ	<del>2前後</del>		1							兼	1 開講科目数の調整により、開講学期を変更(25)
	中国語基礎Ⅳ	2後		1							兼	1
	中国語会話Ⅰ	1前		1							兼	3
	中国語会話Ⅱ	1後		1							兼	3
	中国語文化Ⅰ	1後		2							兼	4
	中国語文化Ⅱ	2前		2							兼	1
	中国語文化Ⅲ	2後		2							兼	1
	中国語文化演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	中国語文化演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	中国語言語演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	中国語言語演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	中国語言語文化演習Ⅰ	4前		2							兼	1
	中国語言語文化演習Ⅱ	4後		2							兼	1
	(ロシア語)											
	ロシア語基礎Ⅰ	1前後		1							兼	2
	ロシア語基礎Ⅱ	1後		1							兼	3
		2前										
	ロシア語基礎Ⅲ	<del>2前後</del>		1							兼	1 開講科目数の調整により、開講学期を変更(25)
	ロシア語基礎Ⅳ	2後		1							兼	1
	ロシア語会話Ⅰ	1前		1							兼	2
	ロシア語会話Ⅱ	1後		1							兼	2
	ロシア語文化Ⅰ	1後		2							兼	1
	ロシア語文化Ⅱ	2前		2							兼	1
	ロシア語文化Ⅲ	2後		2							兼	1
	ロシア語文化演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	ロシア語文化演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	ロシア語言語演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	ロシア語言語演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	ロシア語言語文化演習Ⅰ	4前		2							兼	1
	ロシア語言語文化演習Ⅱ	4後		2							兼	1
	(韓国・朝鮮語)											
	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1前後		1							兼	3
	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1後		1							兼	3
		2前										
	韓国・朝鮮語基礎Ⅲ	<del>2前後</del>		1							兼	1 開講科目数の調整により、開講学期を変更(25)
	韓国・朝鮮語基礎Ⅳ	2後		1							兼	1
	韓国・朝鮮語会話Ⅰ	1前		1							兼	2
	韓国・朝鮮語会話Ⅱ	1後		1							兼	2
	韓国・朝鮮語会話Ⅲ	2前		1							兼	1
	韓国・朝鮮語会話Ⅳ	2後		1							兼	1
	韓国・朝鮮語文化Ⅰ	1後		2							兼	2
	韓国・朝鮮語文化Ⅱ	2前		2							兼	1
	韓国・朝鮮語文化Ⅲ	2後		2							兼	1
	韓国・朝鮮語文化演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	韓国・朝鮮語文化演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	韓国・朝鮮語言語演習Ⅰ	3前		2							兼	1
	韓国・朝鮮語言語演習Ⅱ	3後		2							兼	1
	韓国・朝鮮語言語文化演習Ⅰ	4前		2							兼	1
	韓国・朝鮮語言語文化演習Ⅱ	4後		2							兼	1



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	(身体)												
	健康とスポーツの科学 I	1前		2							兼	2	
	体育実技 I A	1前		1							兼	5	
	体育実技 I B	1後		1							兼	4	
	体育実技 II A	1前		1							兼	4	
	体育実技 II B	1後		1							兼	3	
	体育実技 III A	1前		1							兼	6	
	体育実技 III B	1後		1							兼	5	
	体育実技 IV A	1前		1							兼	6	
	体育実技 IV B	1後		1							兼	5	
	(情報)												
	コンピュータ科学	1前 1後		2							兼	1	担当者の在外研修により開講学期を変更 (25)
	情報技術論	1前		2							兼	1	
	情報と社会	1前		2							兼	1	
	教養科目	(人文科学)											
		(自己)											
		哲学	1前		2							兼	1
		倫理学 I	1前		2							兼	1
倫理学 II		1後		2							兼	1	
論理学 I		1前		2							兼	1	
論理学 II		1後		2							兼	1	
社会思想史		1後		2							兼	1	
行動科学		1前後		2							兼	1	
基礎心理学		1後		2							兼	1	
人間関係論		1前後		2							兼	1	
(文化)													
		1後											
日本文学		1前		2							兼	1	兼任教員の都合により開講学期を変更 (25)
外国文学 I		1前		2							兼	1	
外国文学 II		1後		2							兼	1	
言語学 I		1前		2							兼	1	
言語学 II		1後		2							兼	1	
芸術論 I		1前		2							兼	2	
芸術論 II		1後		2							兼	2	
		1前											
異文化コミュニケーション		1後		2							兼	1	担当者の在外研修により開講学期を変更 (25)
現代文化論		1前		2							兼	1	
音声学セミナー		1前		2							兼	1	
一般言語学セミナー		1後		2							兼	1	
デザインセミナー I		1前		2							兼	1	
デザインセミナー II		1後		2							兼	1	
(歴史)													
歴史学 I		1前		2							兼	1	
歴史学 II		1後		2							兼	1	
歴史学 III		1前		2							兼	1	
考古学		1後		2							兼	1	
(社会科学)													
(社会構造)													
法学		1前		2							兼	1	
日本国憲法		1後		2							兼	1	
		1後											
経済学		1前		2							兼	1	兼任教員の都合により開講学期を変更 (25)
政治学		1前		2							兼	1	
社会学		1後		2							兼	1	
マスコミ論		1前		2							兼	1	
		1後											
生涯学習論		1前		2							兼	1	兼任教員の都合により開講学期を変更 (25)
(地域)													
地理学		1前		2							兼	2	
人類学	1前		2							兼	1		
地誌学	1後		2							兼	3		
	1後												
国際事情	1前		2							兼	1	兼任教員の都合により開講学期を変更 (25)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(自然科学) (環境)											
	地球科学Ⅰ	1前		2		1						
	地球科学Ⅱ	1後		2		1						
	環境生物科学Ⅰ	1前		2		1						
	環境生物科学Ⅱ	1後		2		1						
	物質科学	1前		2		1						
	物質環境科学	1後		2		1						
	宇宙科学Ⅰ	1前		2		1				兼	1	
	宇宙科学Ⅱ	1後		2		1				兼	1	
	地球環境セミナーⅠ	1前		2		1						
	地球環境セミナーⅡ	1後		2		1						
	環境生物科学セミナーⅠ	1前		2		1						
	環境生物科学セミナーⅡ	1後		2		1						
	化学セミナーⅠ	1前		2		1						
	化学セミナーⅡ	1後		2		1						
	宇宙科学セミナーⅠ	1前		2		1						
	宇宙科学セミナーⅡ	1後		2		1						
	(普遍性)											
	数学概論Ⅰ	1前		2							兼	2
	数学概論Ⅱ	1後		2							兼	2
	物理学概論Ⅰ	1前		2			1					
	物理学概論Ⅱ	1後		2			1					
	(北海道学)											
	北海道史	1前		2							兼	1
	北方圏文化論	1前		2							兼	1
	北海道文学	1前		2							兼	1
	アイヌの言語と文化	1後		2							兼	1
キャリア 形成 科目	キャリア・ガイダンス	1通		1							兼	1
体験 型 科目	海外文化Ⅰ	1前後		1							兼	1
	海外文化Ⅱ	1前後		1							兼	1
	海外文化Ⅲ	1前後		1							兼	1
	海外文化Ⅳ	1前後		1							兼	1
留 学 生 科 目	日本語演習Ⅰ	1前		2							兼	1
	日本語読解・構文Ⅰ	1前		2							兼	2
	日本語文章表現Ⅰ	1前		2							兼	1
	日本語演習Ⅱ	1後		2							兼	1
	日本語読解・構文Ⅱ	1後		2							兼	2
	日本語文章表現Ⅱ	1後		2							兼	1
	日本語演習Ⅲ	2前		2							兼	1
	日本事情Ⅰ	2前		2							兼	1
	日本語演習Ⅳ	2後		2							兼	1
	日本事情Ⅱ	2後		2							兼	1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専門教育科目	(A群)												
	線形代数学Ⅰ	1前		2							兼	1	
	線形代数学Ⅱ	1後		2							兼	1	
	微分積分学Ⅰ	1後		2			1						
	微分積分学Ⅱ	2前		2			1						
	確率統計	1前		2							兼	1	
	物理学Ⅰ	1前		2							兼	1	
	物理学Ⅱ	1後		2							兼	1	
	物理学Ⅲ	2前		2							兼	1	
	エネルギー論	2後		2				1			兼	1	
	シミュレーション科学	3前		2			1						
	地球環境論	3後		2			1						
	(B群)												
	生命工学総論	1前	2				11	3					
	生命工学倫理	1後		2			<del>9</del>	<del>5</del>					専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)
	化学概論	1前		2			1						
	有機化学	1後		2							兼	1	
	物理化学	2前		2							兼	1	
		1後											
	微生物学	<del>1前</del>		2							兼	1	兼任教員の都合により開講学期を変更 (25)
		1前											
	生物学概論	<del>1後</del>		2				1					教育効果の充実のため開講期を変更 (25)
	生物多様性論	2前		2			1						
	生化学Ⅰ	2前		2			1						
	生化学Ⅱ	2後		2			1						
	分子生物学Ⅰ	2前		2			1						
	分子生物学Ⅱ	2後		2			1						
	分子生物学Ⅲ	3前		2				1					
	細胞生物学Ⅰ	3前		2			1						
	細胞生物学Ⅱ	3後		2			1						
	遺伝子工学	3後		2				1					
	バイオインフォマティクス	3後		2							兼	1	
	生命科学の未来	4前		2			1						
	(C群)												
人間情報工学系	情報処理技術	1後		2			1	<del>1</del>				専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	コンピュータアーキテクチャ	2前		2						兼	1		
	ソフトウェア工学	2前		2						兼	1		
	人間メディアネットワーク	2後		2				1					
	情報数理学Ⅰ	2後		2			1						
	情報数理学Ⅱ	3前		2			1						
	セキュリティ倫理	3前		2			1	<del>1</del>				専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	情報理論	3後		2			1						
(D群)													
	人間工学概論	2前		2				1					
	音声工学概論	2後		2						兼	1		
	計測工学	2後		2						兼	1		
	感覚情報処理	3前		2				1					
	ヒューマンインタフェース	3前		2						兼	1		
	認知科学	3後		2						兼	1		
	生活支援工学	3後		2						兼	1		
	運動機能計測	4前		2						兼	1		
	ユニバーサルデザイン論	4前		2						兼	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
(E群)	環境工学概論	1前		2								兼 1 専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	地域環境システム論	2前		2		1	<del>+</del>						
	技術文書の書き方	2後		2		1							
	I C T 英語	2後		2									
	科学技術英語	3前		2		1							
	社会心理学	2後		2		1	<del>+</del>						
	合意形成論	3前		2		1	<del>+</del>						
	WEBビジネス論	3前		2									
	バイオビジネス論	3後		2		1							
プレゼンテーション	3後		2								兼 1		
実験・実習等	(F群)												
	化学実験	1前		1		1							
	地学実験	1後		1		2							
	生物学実験	2前		1		4	1						
	物理学実験	3後		1		1	1					兼 1	
	バイオテクノロジー実習 I	3前	2			2						兼 1	
	バイオテクノロジー実習 II	3後	2			1	1					兼 1	
実験・実習等	情報リテラシー演習 I	1前	1			1	<del>+</del>					兼 1 専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	情報リテラシー演習 II	2前	1			1	<del>+</del>					兼 1 専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	情報数理学演習	2後		1		1							
	プログラミング実習 I	2後	1			1	1					兼 1 専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	プログラミング実習 II	3前	1			1	1						
	WEBデザイン演習	3後		1		1	<del>+</del>					専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	人間計測工学実験	4前		1		1	1					専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)	
	インターンシップ	3前		2		1							
	卒業研究	4通	6			11	3						専任教員昇格に伴う配置人数の変更 (25)
						<del>9</del>	<del>5</del>						

- (注) ・ 認可申請書の様式第 2 号 (その 2 の 1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時 (平成 24 年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成 19 年度認可以前) についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 243	科目 0	科目 251	科目 8	科目 243	科目 -	科目 251	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する (資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともに, [ ] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	(共用) 北海商科大学 収容定員 600名 校地基準面積 6,000㎡ 北海高等学校 収容定員 1,155名 校地基準面積 16,493.40㎡ 北海学園札幌高等学校 収容定員 1,200名 校地基準面積 17,136㎡ 平成24年4月運動場用地取得に伴い専用面積が1,920.92㎡増加(24) 平成24年4月に運動場用地として取得した土地を宅地から学校用地に地目変更登記を行った結果、専用面積が0.92㎡減少(25)		
	校舎敷地	20,464.64 ㎡	146,706.00 ㎡	7,359.42 ㎡	174,530.06 ㎡			
	運動場用地	1,920.00 ㎡ <del>1,920.92 ㎡</del> 0 ㎡	283,369.00 ㎡	0 ㎡	285,289.00 ㎡ <del>285,289.92 ㎡</del> 283,369.00 ㎡			
	小計	22,384.64 ㎡ <del>22,385.56 ㎡</del> 20,464.64 ㎡	430,075.00 ㎡	7,359.42 ㎡	459,819.06 ㎡ <del>459,819.98 ㎡</del> 457,899.06 ㎡			
	その他	396.00 ㎡	671.72 ㎡	0 ㎡	1,067.72 ㎡			
	合計	22,780.64 ㎡ <del>22,781.56 ㎡</del> 20,860.64 ㎡	430,746.72 ㎡	7,359.42 ㎡	460,886.78 ㎡ <del>460,887.70 ㎡</del> 458,966.78 ㎡			
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	(共用) 北海商科大学 収容定員 600名 校舎基準面積 4,131.50㎡ 北海学園会館バリアフリー化工事に伴い専用面積が5.90㎡増加(24) 平成25年5月1日現在の校舎面積は、昨年の専用面積72,609.36㎡に、工学部校舎3号館増築部の登記予定面積2,646.48㎡(申請時2,721.28㎡から74.80㎡減少)及び中空渡り廊下エレベーター39.84㎡を加えた面積。		
		75,295.68 ㎡ <del>75,330.64 ㎡</del> 75,324.74 ㎡ ( 75,295.68 ㎡ ) <del>( 72,609.36 ㎡ )</del> <del>( 72,603.46 ㎡ )</del>	8,792.51 ㎡ ( 8,792.51 ㎡ )	7,156.30 ㎡ ( 7,156.30 ㎡ )	91,244.49 ㎡ <del>91,279.45 ㎡</del> 91,273.55 ㎡ ( 91,244.49 ㎡ ) <del>( 88,558.17 ㎡ )</del> <del>( 88,552.27 ㎡ )</del>			
(3) 教室等	講義室	81 82 室	96 室	52 室	12 室 (補助職員 5 人)	4 室 (補助職員 1 人)	大学全体 小教室2室の間仕切りを撤去し中教室1に改修したことに伴い講義室が1室減少(25)	
	演習室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数		14 室		
	生命工学科							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分を含む。 申請時予定金額より安価に購入できたため図書2,399冊(うち外国書1,216冊)及び視聴覚資料528点を追加する。また機械・器具は使用できなくなったものを廃棄したため申請時より357点減少する。(24) 平成25年5月1日現在の図書は、昨年の940,841冊(内外国書180,353冊)に、当初予定の図書17,000冊(内外国書1,300冊)、予算金額内で購入できた図書7,625冊(内外国書2,116冊)を加え、さらに図書12,245冊(内外国書2,430冊)を除籍した。 また、完成時までの3年間(25～27年度)に図書51,000冊(内外国書3,900冊)を購入予定。 視聴覚資料は昨年の点数14,967点に、当初予定の100点及び予算金額内で購入できた520点を加えた。 使用できなくなったものを廃棄したため機械・器具は233点減少、標本は2点減少(25)
	生命工学科	1,004,221 [185,239] <del>4,008,841 [185,553]</del> <del>4,006,442 [184,337]</del> (953,221 [181,339]) <del>(940,841 [180,353])</del> <del>(921,442 [177,837])</del>	9,200 [1,400] (9,200 [1,400])	11,412 [11,407] 11,412 [11,407]	15,887 <del>15,367</del> 14,839 (15,587) <del>(14,967)</del> <del>(14,339)</del>	8,144 <del>8,377</del> 8,734 (7,426) <del>(7,659)</del> <del>(8,016)</del>	51 53 (51) (53)	
	計	1,004,221 [185,239] <del>4,008,841 [185,553]</del> <del>4,006,442 [184,337]</del> (953,221 [181,339]) <del>(940,841 [180,353])</del> <del>(921,442 [177,837])</del>	9,200 [1,400] (9,200 [1,400])	11,412 [11,407] 11,412 [11,407]	15,887 <del>15,367</del> 14,839 (15,587) <del>(14,967)</del> <del>(14,339)</del>	8,144 <del>8,377</del> 8,734 (7,426) <del>(7,659)</del> <del>(8,016)</del>	51 53 (51) (53)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	6,267.19 m <sup>2</sup>		609 席		950,000 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	4,175.78 m <sup>2</sup>		-						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費及び図書購入費については、届出学科を含む工学部全体。
		教員1人当り研究費等	573千円	573千円	図書購入費	5,000千円	3,500千円	3,500千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	0千円	146,950千円	17,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,530千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入等で維持する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	北海学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	取定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部 1部経済学科	4	160	—	640	学士(経済学)	1.14	昭和27年度	札幌市豊平区 旭町4丁目 1番40号	
経済学部 1部地域経済学科	4	140	—	560	学士(経済学)	1.12	平成15年度		
経済学部 2部経済学科	4	75	—	300	学士(経済学)	1.13	昭和28年度		
経済学部 2部地域経済学科	4	45	—	180	学士(経済学)	1.19	平成15年度		
経営学部 1部経営学科	4	160	—	640	学士(経営学)	1.08	平成15年度		
経営学部 1部経営情報学科	4	140	—	560	学士(経営学)	1.09	平成15年度		
経営学部 2部経営学科	4	100	—	400	学士(経営学)	1.08	平成15年度		
法学部 1部法律学科	4	155	20	660	学士(法学)	1.19	昭和39年度		
法学部 1部政治学科	4	100	10	420	学士(法学)	1.20	平成11年度		
法学部 2部法律学科	4	120	—	480	学士(法学)	1.03	昭和39年度		
法学部 2部政治学科	4	60	—	240	学士(法学)	1.03	平成11年度		
人文学部 1部日本文化学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.20	平成5年度		
人文学部 1部英米文化学科	4	95	—	380	学士(文学)	1.16	平成5年度		
人文学部 2部日本文化学科	4	40	—	160	学士(文学)	1.19	平成5年度		
人文学部 2部英米文化学科	4	30	—	120	学士(文学)	1.22	平成5年度		
工学部社会環境工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.27	昭和43年度	札幌市中央区 南26条西11丁目 1番1号	
工学部建築学科	4	70	—	280	学士(工学)	1.14	昭和43年度		
工学部電子情報工学科	4	70	—	280	学士(工学)	1.17	昭和62年度		
工学部生命工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.12	平成24年度		
大学の名称	北海学園大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	取定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学研究科								札幌市豊平区 旭町4丁目 1番40号	
経済政策専攻(M)	2	15	—	30	修士(経済学)	0.33	昭和45年度		
経済政策専攻(D)	3	3	—	9	博士(経済学)	0.88	平成7年度		
経営学研究科									
経営学専攻(M)	2	7	—	14	修士(経営学)	0.85	平成12年度		
経営学専攻(D)	3	3	—	9	博士(経営学)	0.66	平成14年度		
法学研究科									
法律学専攻(M)	2	7	—	14	修士(法学)	0.42	昭和61年度		
法律学専攻(D)	3	2	—	6	博士(法学)	0.50	平成4年度		
政治学専攻(M)	2	7	—	14	修士(法学)	0.40	平成15年度		
政治学専攻(D)	3	2	—	6	博士(法学)	0.33	平成17年度		



文学研究科											
日本文化専攻(M)	2	5	—	10	修士(文学)	0.70	平成11年度	札幌市豊平区 旭町4丁目 1番40号			
日本文化専攻(D)	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	平成13年度				
英米文化専攻(M)	2	5	—	10	修士(文学)	0.30	平成15年度				
英米文化専攻(D)	3	2	—	6	博士(文学)	0.16	平成17年度				
工学研究科											
建設工学専攻(M)	2	6	—	12	修士(工学)	0.33	平成3年度	札幌市中央区 南26条西11丁目 1番1号			
建設工学専攻(D)	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	平成7年度				
電子情報工学専攻(M)	2	6	—	12	修士(工学)	0.33	平成3年度				
電子情報工学専攻(D)	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成7年度				
法務研究科											
法務専攻(P)	3	25	—	75	法務博士(専門職)	0.60	平成17年度	札幌市豊平区 旭町4丁目1番40号			
大学の名称	北海商科大学								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地			
商学部	年	人	年次人	人		倍					
商学科	4	100	—	400	学士(商学)	1.22	昭和52年度	札幌市豊平区豊平6 条6丁目10番			
観光産業学科	4	50	—	200	学士(商学)	1.08	平成6年度				
大学の名称	北海商科大学大学院								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地			
商学研究科	年	人	年次人	人		倍					
ビジネス専攻(M)	2	5	—	10	修士(商学)	0.60	平成23年度	札幌市豊平区豊平6 条6丁目10番			
ビジネス専攻(D)	3	2	—	6	博士(商学)	1.00	平成25年度				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 生命工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
 教育開発運営委員会を設置している。委員は各学部教授会で選出された教員2名（うち1名は研究科担当教員）及び教務センター長で構成している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
 教育開発運営委員会 年4回（4月、5月、10月、3月）

c 委員会の審議事項等

- (1) 全学に共通する教育システムの企画と開発
- (2) 教育内容・方法の改善に関わる全学的な企画と推進
- (3) 全学に関わる教育課題の調査及び教育効果の評価方法の開発と実施
- (4) 教育活動の支援体制の整備
- (5) 教育開発関連の予算の策定と執行
- (6) その他必要な事項

② 実施状況 [平成24年度]

a 実施内容

- ・ 授業改善アンケートの実施（前期、後期）・分析・公表
- ・ 教育研究交流会の開催

b 実施方法

- ・ 教育開発運営委員会で審議し企画などを実施。また必要に応じ部会を設置し専門的な検討を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育研究交流会の開催（6月、12月、2月）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 [平成24年度]

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 第1学期末と第2学期末の1ヶ月間に実施。回答率：第1学期24.9% 第2学期15.4%

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 報告書の作成およびWebにて公開（<http://hgu.jp/guide/survey/>）

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命工学科は、「生命科学系」と「人間情報工学系」とを融合させたカリキュラム編成のもと、両学問領域にまたがる教育と研究を通じて、地域社会のみならず広く世界に貢献する人材養成を目的とする。学生定員60名に対し開設初年度となる平成24年度は62名、また2年目の平成25年度は73名の入学者を迎えた。平成25年度入試からは大学入試センター試験利用入試も導入し定員確保は順調に推移している。1年次は本学豊平キャンパスにて主に一般教育科目の履修のほか、必修科目である「生命工学総論」や「情報リテラシー演習」等を通じて2年次以降の専門教育科目履修へスムーズに移行できるよう、カリキュラムが組まれている。近年多様化しつつある学生への対応として、入学直後より本学科専任教員と学生が直接交流する機会を設定し、より密接な関係作りができるよう努めている。本学は札幌市中央区の山鼻地区に工学部のキャンパスがあり、工学部での専門教育は2年次以降ここで行われる。今年度4月から山鼻キャンパスに本学科の新施設が竣工し、最新の設備・機器を用いて2年次となる1期生の専門教育を行う学修環境が整備された。ここでは「バイオテクノロジー実習I、II」や「プログラミング実習I、II」をはじめ生命系、情報系の実習や演習に対するカリキュラムが重点的に配置され、基礎から応用までの手技手法を体験的に学ぶことができる。今後も教員はもとより学校法人本部事務局、大学職員の協力の下、本学科は設置の趣旨・目的が十分に達成されるように、完成年度に向けて計画したカリキュラムを滞りなく遂行する一方、魅力ある授業づくり、教育・研究の水準と質の向上に努めていく。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成25年3月に「工学部・工学研究科の教育と研究V」を刊行し公表した。

##### b 公表方法

- ・「工学部・工学研究科の教育と研究V」を刊行し、関係機関などに配布。

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成25年 7月 )